

ガバナー補佐方針

国際ロータリー第 2530 地区

2026～27 年度会津分区ガバナー補佐

福西宜孝（会津若松中央 RC）

私は、後期高齢者となりまもなく 4 年目に入りますが、老骨にムチ打ち、微力ながら全力を尽くします。ご指導、ご協力を宜しくお願い致します。

ガバナー補佐の重要な役目は、「ガバナーの地区運営を手助けすることにある。」との由です。そこで、まず、ガバナー公式訪問が、より有意義なものになるように努めます。アンケート調査の結果や、分区内の会長幹事会で得た情報も加えて検討します。そして、役立つ情報が見つければ、公式訪問前にガバナーにお伝えします。

公式訪問後も、ガバナー補佐としての各クラブへの訪問、会長幹事会、その他クラブ間の交流の機会などを通して、各クラブの抱える問題などを把握したいと考えております。必要に応じガバナーにご連絡し、問題の解決に尽力致します。

次に、IM と新会員セミナーについては、「職業奉仕」をテーマに実施します。前者は、シンポジウムと体験事例発表の二本立てを考えています。後者は、RLI 方式で行います。前者は、過去の地区職業奉仕委員長経験者に、シンポジストとしてご協力いただきます。後者は、RLI 委員会のお力を借りる予定です。いずれも、金田ガバナーの提唱される「連携と連帯」により、手作りの企画にするつもりです。この企画が、ロータリー精神の涵養とクラブの活性化に役立つ内容にすべく、尽力します。職業奉仕は、古色蒼然たる訓詁の学ではなく、会員増強に役立つナウいテーマと考えます。

RI 会長のメッセージの中に、「会員一人一人の内面に生まれる持続可能な変化」という言葉があります。私は、上記企画やクラブ訪問の機会などを通じて、会員一人一人が、「ロータリークラブの会員になったことの意味」、「例会に出席することの意味」を考え、「その内面に持続可能な変化が生まれるよう」、微力ながら尽力したいと思います。